

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社大和証券グループ本社（証券コード:8601）

【変更】

長期発行体格付	A +	→	A A -
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付（優先債）	A +	→	A A -
債券格付（損失吸収条項付 Tier 1）	B B B +	→	A -
発行登録債予備格付	A +	→	A A -

大和証券株式会社（証券コード: -）

【変更】

長期発行体格付	A +	→	A A -
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的

■ 格付事由

- (1) 大和証券グループ（グループ）は、中核会社の大和証券のほか大和アセットマネジメント、大和ネクスト銀行などを擁する国内 2 位の業容を持つ証券会社グループ。グループ信用力は、強固な顧客基盤や商品供給力などに裏打ちされた市場地位の高さ、市況変化に左右されにくい損益構造を背景とした比較的安定した収益力、リスクに対して十分な厚みを有する株主資本など良好な財務基盤を反映している。JCR は前回の格付の見直しにおいて、格付の見通しを「ポジティブ」として安定収益と利益水準の動向などを見極めてきた。安定収益は早いペースで拡大しており、外部環境の変化に対する利益の耐久性は一段と向上している。また、経常利益は従前と比べて高い水準を確保している。これらを踏まえ、発行体格付を 1 ノッチ引上げ「AA-」とした。
- (2) グループの事業基盤は強固である。国内における顧客基盤の厚み、事業の多様性の高さなどで国内大手証券会社の中で上位に位置する。ウェルスマネジメント（WM）部門では、預り資産残高や残あり顧客口座数は中長期的に増加基調にある。顧客ニーズを捉えた商品供給、顧客資産全体への包括的なコンサルティングなど富裕層を主要ターゲットとする資産導入額の増強に向けた取り組みに環境変化が相まって、株式投信、ラップ口座契約資産などのストック関連資産の純増は高い水準が維持されている。アセットマネジメント（AM）部門では、証券 AM の公募投資信託の運用資産残高は株式投信を中心に順調に拡大しており、業界上位のシェアを誇る。一方、グローバル・マーケット＆インベストメント・バンキング（GM&IB）部門では、国内において株式関連業務で上位の実績を上げており、一定のプレゼンスを確立している。
- (3) 収益力は良好である。業績の変動は大手証券会社の中では小さく、安定性の面で優位にある。経常利益をみると、25/3 期では負ののれん発生益を除いた実質ベースで 2,000 億円程度と長期的にみて高水準となった。26/3 期上半期においても、実質ベースで増益が維持されている。利益の拡大は株式市場の活況による影響が大きいものの、ストック資産を源泉とする利益の拡大が持続しており、損益構造は大きく変化している。グループは、安定収益の一段の増強のほか、GM&IB 部門においてミッドキャップ市場での M&A ビジネスの強化や資本効率性を意識したポジション運営などにより、資本負担の低減を図りつつ収益の多様化を進めている。事業ポートフォリオの変革を通じて、中期的に収益力が一層強化される蓋然性は高いと JCR はみている。
- (4) 資本充実度は良好である。グループ連結株主資本は 25 年 9 月末 1.4 兆円とリスクに対して十分な厚みがある。また、連結普通株式等 Tier1 比率（CET1 比率）は 19%程度と高い。グループは資本運営方針において、

未使用資本を成長投資に活用する一方、一定以上の資本水準を維持する方針を示しており、リスク対比でみた資本の十分性は維持され则认为られる。リスク管理面に問題はみられない。リスクアペタイトや複数のシナリオによるストレステストなどを通じて適切なリスクコントロールが行われている。資金調達面においては長期調達を主体として、調達チャネルや償還年限の分散が図られており、流動性にも特段の懸念はない。

発行体：株式会社大和証券グループ本社

大和証券グループの持株会社。発行体格付はグループ信用力と同等としている。ダブルレバレッジ比率が一定の水準以下で推移しており、財務運営方針などを踏まえると今後もキャッシュフロー・バランスの安定性は維持されるとみられることから、持株会社が有する構造劣後性を反映していない。

発行体：大和証券株式会社

大和証券グループの中核証券会社。グループにおける中核的な位置づけなどを踏まえて、発行体格付はグループ信用力と同等としている。グループの総資産や収益に占める割合は最も大きく、中心的な役割を担っている。

(担当) 阪口 健吾・南澤 輝・志村 直樹

■格付対象

発行体：株式会社大和証券グループ本社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	110億円	2016年2月25日	2026年2月25日	0.560%	AA-
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2016年8月25日	2026年8月25日	0.400%	AA-
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年8月28日	2027年8月27日	0.410%	AA-
第33回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2018年11月29日	2028年11月29日	0.480%	AA-
第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年6月2日	2026年6月2日	0.230%	AA-
第37回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年6月2日	2028年6月2日	0.330%	AA-
第38回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2023年2月24日	2026年2月24日	0.540%	AA-
第39回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2023年2月24日	2028年2月24日	0.794%	AA-
第40回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	500億円	2023年11月28日	2026年11月27日	0.575%	AA-
第41回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	500億円	2023年11月28日	2028年11月28日	0.858%	AA-
第42回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	410億円	2023年12月18日	2026年12月18日	0.575%	AA-
第43回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	450億円	2023年12月18日	2028年12月18日	0.858%	AA-
第44回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100億円	2024年2月27日	2027年2月26日	0.470%	AA-
第45回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2025年5月22日	2028年5月22日	1.288%	AA-
第46回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2025年5月22日	2030年5月22日	1.594%	AA-
第47回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	640億円	2025年6月2日	2028年6月2日	1.288%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約および劣後特約付）	250 億円	2020 年 3 月 16 日	定めなし	(注 1)	A-
第3回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約および劣後特約付）	1,150 億円	2024 年 12 月 5 日	定めなし	(注 2)	A-
第4回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約および劣後特約付）	100 億円	2024 年 12 月 5 日	定めなし	(注 3)	A-

(注 1) 2030 年 6 月 5 日まで 1.39%。その翌日以降は 6 ヶ月ユーロ円ライボーに 1.50%を加えた率。

(注 2) 2029 年 12 月 5 日まで 2.199%。その翌日以降は 5 年国債金利に 1.480%を加えた率。

(注 3) 2034 年 12 月 5 日まで 2.642%。その翌日以降は 5 年国債金利に 1.580%を加えた率。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	5,000 億円	2024 年 7 月 23 日から 2 年間	AA-

発行体：大和証券株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 12 月 19 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：阪口 健吾
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「証券」(2025 年 4 月 2 日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022 年 9 月 1 日)、「金融機関等が発行する資本商品・TLAC 商品の格付方法」(2017 年 4 月 27 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社大和証券グループ本社
大和証券株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件の対象である損失吸収条項付商品につき、約定により許容される利息の支払停止または元利金支払義務の免除が生じた場合、当該支払停止や免除は「債務不履行」に当たらないが、JCR では債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル